道徳学習指導案

活動場所　本校舎２階　３年４組教室
生 徒 数　３年４組 男子 16名 女子 15名 計 31 名
指 導 者　教　諭　釜　崎　孝　一

1　主題名　かけがえのない命

2　資料名　「命，母の決断」（大江浩光 氏 の聞き取りによる資料）

3　学習指導要領との関連

内容３　主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること (2)　生命の尊さを理解し，かけがえのない自他の生命を尊重する。

4　主題設定の理由

昨今の日本社会において自分や他人の命を軽視し，傷つけてしまうという事件が後を絶たない。特に児童，生徒が関与する事件が急激に増え，社会的な問題にまでなっている。よって子ども達には，いろいろな機会を通して命の大切さを徹底して理解させる必要がある。

命とは何物にも置き換えることのできない最も尊ばれるべきものである。命を尊ぶことは，かけがえのない命をいとおしみ，自らもまた多くの命によって生かされていることに感謝しようとする心の現れといえる。自他の命を尊ぶためには，まず自分の命の尊さを深く考えることが大切である。また同時に，人間以外のすべての命の尊さについても考えていかなければならない。しかし，最近の子ども達の生活環境は劇的に変化し，自然や人間との触れあいの希薄さから命あるものとの関わりが少なくなり，命の尊さについて考える機会を失っているといえる。

中学生の時期には，健康に毎日が過ごせるためか自己の命に対する有り難みを感じている生徒は決して多いとは言えない。また生徒たちも，ＴＶや雑誌，ゲームなどを通して，痛みを伴わない架空の「死」の情報は得ているが，「命とは何か」，「人生にはどのような意味があるのか」について考える機会が少ないため，生命軽視の軽はずみな言動をとってしまうことがある。

そこで指導にあたっては，中学校３年生という多感な時期に，自分にとって「命を大切にする」とはどういうことかを考えさせながら命の尊さに気づき，与えられたかけがえのない命について価値を追求させたい。また人の命だけでなく，身近な動植物など命あるものすべての尊厳に気づかせ，互いに支え合って生きていることに感謝の気持ちをもたせたいと考え，この主題を設定した。

5　資料分析

本資料は「命，母の決断」という題名で西日本新聞に掲載された作品（大江浩光 氏の聞き取り資料）である。

前半は「もし出産すれば自分の命を落とす可能性が高い。」と医者から宣告された体の弱い妊婦が出産に踏み切り，出産が原因で出産から十三日後に亡くなってしまうという話である。産まれてくる生命と自分の生命との狭間で，悩み苦しんだ母親の心情が描かれている。

後半は母親が産まれてくる息子に託した手紙である。この息子への短い手紙には，たった十三日で息子と死別しなければならなかった無念の思いや，かけがえのない命を大切にしてほしいという母親の気持ちがつまっている。

生徒達にかけがえのない自分に与えられた命の意味を気づかせ，自分もそして他の人たちの命も大切にしていかなければいけないという思いをもたせるには，意義深い資料といえる。

【あらすじ】	【主人公　母親の心情】	【価　値】
病院にてお腹の中に赤ちゃんができたことを知り，父親と共に喜び合う。	○　やっと子どもを授かることができてうれしい。 ○　大切に育てていきたい。	生命尊重 温かい人間愛
妊娠４ヶ月が過ぎた頃に「もし出産すればあなたが命を落とす可能性が高い。」と医者から告げられる。	○　絶対に子どもは失いたくない。 ○　自分が死ぬことが怖いから子どもはあきらめよう。 ○　なんとかして子どもも自分も二人とも助かりたい。	生命尊重 温かい人間愛 弱さ，醜さの克服
母親は，周囲の反対を押し切って出産に踏み切る。無事元気な赤ちゃんを出産できたが，母親は出産から十三日後に亡くなってしまう。	○　子どもをおろすのは嫌だ。 ○　私のことをそこまで心配してくれていたんだ。 ○　自分が死んだら子どもはどうなるか心配だ。 ○　自分自身が死ぬのは嫌だ。	生命尊重 集団の意義 父母，祖父母への敬愛の念 思いやりの心
たった十三日で息子と死別しなければならなかった思いをつづって，母親は息子へ手紙をしたためる。	○　せっかく子どもが生まれたのにそばにいれなくて悔しい。 ○　息子には，かけがえのない命を大切にしてほしい。	思いやりの心 理想の実現 自己の向上

6　生徒の実態

本学級の生徒は，自分の考えを言動に表すことはできるが，時として，他人を無意識に不愉快にしてしまう場面がみられる。内容としては，生命を深く考えていないようなものもあり，相手に不快な思いを与えていることすら気づかないものもいる。また，思春期という情緒不安定な時期に加え，進学に対する不安，友達との人間関係での悩みなど些細なことでもストレスと感じている生徒も少なくない。このような時期にこそ，親の愛情を理解し，安心感をもたせ，自己を大事にする心を育てることにより，相手をも大事にする心を育てたい。

7　本時の実際

(1)　本時の目標

自分の誕生に対する親や周囲からの愛を知り，受け継ぐ命の重さを感じ取り，一度しかないかけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。

(2)　授業設計の視点

ア　すべての生徒の感性に訴え，道徳的心情を高める資料提示の工夫

最近の生徒たちは，テレビや映画，マンガ，携帯電話，パソコンなど映像と音楽がともなった情報から様々な道徳的心情を感じ取ることが多い。その結果，新聞や小説，作文などの読み物資料から道徳的心情を読み取るこを苦手としている生徒も少なくない。確かに，文章から登場人物の心情を読み取る力は重要であるが，この授業で取り扱うのは「生命尊重」に関することであり，クラス全員の生徒たちに考えを深めて欲しいという強い思いがある。

そこで，従来のように資料の文章を読ませるのではなく，プレゼンテーションソフトを用いて，文章と関連する映像，音楽を一緒にしてスライド形式で提示する。このことによって，生徒が資料内容に引き込まれ，道徳的な心情を高めやすいと考えた。

イ　生徒自身に関わる道徳資料の工夫と学習活動の工夫

自己の命の尊さを実感させる手だてとして，事前に生徒一人ひとりの家族から自分の子どもへ書いてもらった手紙を生徒へ渡して読ませる。その内容は

> ①　子どもの生命を授かったときの喜び。
> ②　出産してはじめて腕の中で抱き寄せた感動。
> ③　自分に与えられた生命を今後どのように活かしていってほしいか。

という視点から書いて頂くようにお願いした。

この手紙を通して，かけがえのない命をいとおしみ，自他の生命を尊重する態度を高めさせたい。

また，終末で自分の家族への手紙を書くことにより，生命を授かったことへの感謝の気持ちを高めさせ，自他の命を尊重する態度を養わせたい。

(3)　授業の展開

過程		時間	学習活動	主な発問	支援上の留意点
導入	意識化	2分	1．数枚のボードの色から連想できるものを考え，発表する。	・　この色は何をイメージしたものでしょうか。	・「命を色で表したら何色になるか」というアンケート結果を示し，命に対する多様な感じ方を知らせる。 ボード(アンケート結果)
		3分	2．スクリーンを見て何の映像か考え，発表する。	・　これは，いったい何だと思いますか。	・　学習への関心を高めさせるために，わかってもすぐに口に出さないように事前に指示する。 ・　スクリーンに映っている胎児が自分の娘であることを告げ，愛おしいという気持ちを伝える。 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ(胎児映像)
			かけがえのない命を大切にするには，どんな気持ちが必要か。		
展開	焦点化	7分	3．資料の朗読をきき登場人物と概略を確認する。		・　実話であることを告げ，資料の内容に引き込ませる。 朗読ＣＤ ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ(資料映像) ワークシート 【視点ア】 生徒の感性に訴え，道徳的心情を高める資料提示の工夫
	追求・深化	18分	4．場面ごとの登場人物の心情をとらえる。 (1)「もし出産すればあなたが命を落とす可能性が高い。」と医者から告げられた時の母親の気持ちを考える。	・「もし出産すればあなたが命を落とす可能性が高い。」と医者から告げられた時の母親はどんなことを考えたのでしょうか。	・　母親の気持ちの揺れを感じとらせる。
			(2)　状況を知った周囲の人達の気持ちを考える。	・「夫」，「子ども」，「祖父母」，「知人」など，いずれかの立場に立ってあなたの考えを発表して下さい。	・　様々な立場の思いを考えることによって，母親が難しい決断を迫られていたことに気づかせる。

			(3) それでもなぜ母親は子どもを産もうと決断したのか考える。	・ それでもなぜ母親は子どもを産もうと決断したと思いますか。また，母親にとっての命とは何だったのでしょうか。	・ 自分の命を犠牲にしてまで新しい命を守ったことが本当に正しかったのか考えさせる。
	自覚化	10分	5．かけがえのない命を大切にするには，どんな気持ちが必要か考える。 6．自分の家族からの手紙を読む。	・ かけがえのない命を大切にするには，どんな気持ちが必要か考えましょう。 ・ 家族からの手紙を読んで，親の気持ちを知ると共に，自分に託された命の尊さを感じ取って下さい。	・ 生徒の発表をもとに，考えを深めさせる。 ワークシート ・ 十分に時間をとり，じっくりと家族からの手紙を読ませることで，今ここにある自分の命の尊さを実感させ，今後の生き方を考えさせる。 自分の家族からの手紙 【視点イ】 生徒自身に関わる道徳資料の工夫と学習活動の工夫
終末	意欲化	10分	7．家族へ手紙を書く。 8．教師の説話をきく。	・ 手紙を読んでの感想とともに，これから自他の命をどのように考え，どのように生かしていくのか。生き方を含めての感想を書いて下さい。	・ 家族への手紙を書くことにより，生命を授かったことへの尊重と感謝の気持ちを深めさせる。 道徳ノート ・ かけがえのない命を大切にするには，周囲への感謝を忘れず，必死に生き抜こうとする気持ちが必要であることを再認識させる。

(4) 評価

自分の誕生に対する親や周囲からの愛を知り，受け継ぐ命の重さを感じ取り，一度しかないかけがえのない命を大切にしようとする意欲が高まったか。